



2024 年 11 月 15 日

日本コカ・コーラ株式会社

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

北陸コカ・コーラボトリング株式会社

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

**コカ・コーラシステム全 6 社
職場における LGBTQ+への取り組み指標
「PRIDE 指標 2024」にて最高評価「ゴールド」を 3 年連続受賞**

日本コカ・コーラ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ムラット・オズゲル、以下「日本コカ・コーラ」と）、全国 5 社のボトリング会社等で構成されるコカ・コーラシステム（以下「コカ・コーラシステム」）は、一般社団法人 work with Pride が職場における LGBTQ+に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2024」において、最高位である「ゴールド」認定を 3 年連続で受賞（※1）しました。

work with Pride



コカ・コーラシステムは、「多様性の尊重（Inclusion）」をサステナビリティ戦略の柱の一つとして掲げ、「ジェンダー」「年齢／世代」「障がい者支援」「LGBTQ」の分野において各種取り組みを推進しています。なかでも「LGBTQ」においては、2021 年にコカ・コーラシステム全 6 社で同性パートナー（※2）に対応した就業規則改訂、2022 年には LGBTQ+についての基本的な解説や過去の歴史、アライ（※3）のために必要な知識などをまとめた「LGBTQ+アライのためのハンドブック」を全社で導入、他の企業・団体も利活用できるように無償公開するなど、社内外への啓発活動を推進しています。

また、「東京レインボープライド」などのイベントに対する協賛やブース出展に継続的に取り組むほか、2023 年には、公益社団法人「Marriage For All Japan—結婚の自由をすべての人に」が発足した全国横断アクション・キャンペーン「結婚の平等に YES！～YES！FOR MARRIAGE



EQUALITY」に賛同し、全国各地のプライドパレードに出展した共同ブースにおいて、「LGBTQ+アライのためのハンドブック」を無料配布するなどの活動を実施しました。これらに加え、社内向け勉強会などを継続的に行ったことで、この度の「ゴールド」の取得に至りました。

コカ・コーラシステムでは、今後も継続的な社内内外の啓発の機会を通じて、LGBTQ への理解促進、働きやすい環境整備を目指し取り組みを推進します。

※1 コカ・コーラシステム全 6 社が「ゴールド」認定を受賞するのは 2022 年より 3 年連続。日本コカ・コーラとコカ・コーラ ボトラーズジャパンは「ゴールド」認定を 2021 年より 4 年連続で受賞。

※2 戸籍上の性別が同じパートナー。

※3 アライは、「同盟」や「味方」などを意味する英語「ally」が語源で、自分自身が性的マイノリティであるかどうかによらず、積極的にLGBTQ+を理解し、サポートする人を指します。

コカ・コーラシステムの「LGBTQ」への共通取り組み一例

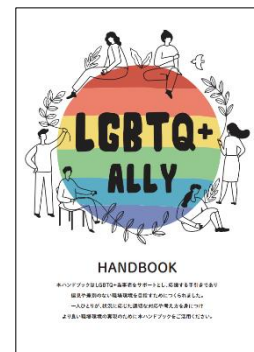
「結婚の平等に YES！～YES！FOR MARRIAGE EQUALITY」キャンペーンに参画

コカ・コーラシステムでは、2023 年 5 月に公益社団法人「Marriage For All Japan—結婚の自由をすべての人に」が発足した全国横断アクション・キャンペーン「結婚の平等に YES！～YES！FOR MARRIAGE EQUALITY」に賛同し、全国各地のプライドパレードに共同ブースを出展しました。各地のブースでは、「LGBTQ+アライのためのハンドブック」や「結婚の平等に YES！」&コカ・コーラシステム協働ポストカードの無料配布を行いました。また、一部エリアでは社員がプライドパレードにも参加しました。

「LGBTQ+アライのためのハンドブック」導入・無償公開

LGBTQ+についての基本的な解説や過去の歴史、アライになるために必要な知識などをまとめた「LGBTQ+アライのためのハンドブック」を策定し、2022 年 7 月にコカ・コーラシステム全社で一斉導入しました。また、併せて LGBTQ+への理解促進を検討するあらゆる企業・団体に向けて無償公開しました。パナソニックグループ、QVC ジャパンなどの企業内においても活用されています。本ハンドブックは、「プライドハウス東京」(日本初の大型総合 LGBTQ+センター)の監修を受け制作したものです。

<https://reg.cocacola.co.jp/op/CCPARK/3588-Xjv-win/>



同性パートナーに対応した就業規則改訂

コカ・コーラシステム全 6 社にて、同性パートナーにも対応した福利厚生および就業規則の整備を 2021 年 5 月に完了し、より働きやすい環境作り・意識改革を推進しています。コカ・コーラシステムで働く全国約 2 万人の社員を対象に、法的婚姻関係にあるパートナー以外の同性パートナーも等しく配偶者として扱い、慶弔休暇や特別休暇を取得できるよう各種制度を導入・運用し、多様な社員に平等な職場環境を提供しています。



PRIDE 指標について

「PRIDE 指標」は、企業・団体等の枠組みを超えて LGBTQ+が働きやすい職場づくりを日本で実現することを目的に、一般社団法人 work with Pride が 2016 年に策定した指標です。Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティー）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の 5 つの評価指標に分類され、企業や団体は各指標の獲得点数により表彰されます。2021 年には、日本社会での LGBTQ+に関する理解促進や権利擁護において企業や団体が果たす役割や存在感が増していることを踏まえ、国・自治体・学術機関・NPO/NGO などとのセクターを超えた協働を推進する企業を評価する「レインボー」認定が新設されました。

<https://workwithpride.jp/pride-i/>

日本におけるコカ・コーラシステムについて

コカ・コーラシステムは、ザ コカ・コーラ カンパニーの日本法人で、原液の供給と製品の企画開発をおこなう日本コカ・コーラと、全国 5 社のボトリング会社（コカ・コーラ ボトラーズジャパン、北海道コカ・コーラボトリング、みちのくコカ・コーラボトリング、北陸コカ・コーラボトリング、沖縄コカ・コーラボトリング）などで構成されています。

コカ・コーラシステムが国内で取り扱う製品は 40 以上の炭酸飲料および非炭酸飲料ブランドにおよび、世界で最も高い評価を得ているブランドである「コカ・コーラ」をはじめ、「ファンタ」「スプライト」などのグローバル・ブランドのほか、「ジョージア」「アクエリアス」「い・ろ・は・す」「綾鷹」など、日本市場のために開発されたブランドが含まれます。コカ・コーラシステムは、持続可能な地域社会の構築を目指してたゆまぬ努力を重ねており、事業活動による環境負荷の削減、社員のための安全で開かれた職場環境の構築、事業を展開する地域社会における経済発展の促進といった取り組みに力を注いでいます。

コカ・コーラシステムのサステナビリティの取り組みについて

<https://www.coca-cola.com/jp/ja/sustainability>

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

日本コカ・コーラ株式会社 広報部 担当: 宍倉 TEL : 03-5466-8104



<参考資料: 2024 年の LGBTQ 各社取り組み(一部)>

■ 日本コカ・コーラ株式会社／コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

「東京レインボープライド 2024」に協賛・ブース出展

日本コカ・コーラとコカ・コーラ ボトラーズジャパンはアジア最大級の LGBTQ+関連イベント「東京レインボープライド 2024」に協賛し、ブースを出展しました。また、渋谷スクランブル交差点の地上約 40m、QFRONT 屋上に設置した「渋谷コークビジョン」にて、レインボーカラーをモチーフにボトルやロゴなどを表現した啓発広告を掲出したほか、プライドパレードにもコカ・コーラシステムの社員が参加しました。

<https://www.coca-cola.com/jp/ja/media-center/news-20240415-14>



■ 北海道コカ・コーラボトリング株式会社

「さっぽろレインボープライド 2024」に協賛

北海道コカ・コーラボトリングは、「さっぽろレインボープライド 2024」に協賛し、オリジナルグッズの配布や、プライドパレードにも同社社員とその家族が参加し、札幌の街を約 3km 歩きました。

<https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/news/10301/>



■ コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

DE&I のロゴマークとステートメントを策定

コカ・コーラ ボトラーズジャパンは DE&I に関する同社の考え方や姿勢を発信するためにロゴマークとステートメントを策定し、2024 年 6 月に発表しました。新ロゴマーク「Be COLORFUL!」は多様性と包括性を象徴し、個々が持つ独自の色彩を大切に、それらが集まってより豊かな絵を描くように、一人ひとりが自分らしく輝いている様子を表現しています。また、同社の持つ多様性を表現するため、製品パッケージをイメージしたカラーを使用しました。

<https://www.ccbj-holdings.com/news/detail.php?id=1555>



■ 北陸コカ・コーラボトリング株式会社

「金沢レインボープライド 2024」に協賛

北陸コカ・コーラボトリング会社は 2023 年に引き続き、「金沢レインボープライド 2024」の取り組みに賛同し協賛。また、同社社員と関連会社の社員でパレードに参加、しいのき緑地から金沢市内を一周しました。

<https://www.hokuriku.ccbc.co.jp/?p=5820>

